

<文書質問>

〔通告内容〕併用方式、30分

- 1 コロナ禍における高齢者支援について
 - (1) 心身の健康維持を図る目的で実施したカタログギフト配布の現状と対応について
 - (2) 老人福祉センター事業の実施状況について
- 2 加美上水公園におけるカシノナガキクイムシによる被害について

○4番（小澤芳輝君） 通告に基づきまして一般質問を行います。2項目3点、併用方式、30分にて行います。

さて、新型コロナウイルスの感染者が福生市でも12月1日現在において70名を超えてきました。

新型コロナウイルスワクチンがやっと開発・提供のめどが立ってきつつある現在ではありますが、感染リスクの高いとされている高齢者においては、なかなか外出に対しても勇気が必要な状況には変わりありません。安心して暮らせるように、新型コロナウイルス感染症の早期収束を願っています。では、質問に移りたいと思います。

1項目め、コロナ禍における高齢者の支援についての1点目、心身の健康維持を図る目的で実施したカタログギフト配布の現状と対応についてでございます。

令和2年度一般会計補正予算（第5号）において、高齢者感染症対策事業として高齢者の心と体の健康維持を図る目的でカタログギフトを配布したが、その現在の利用状況等、またその結果これからどのように対応するかについて伺います。

2点目、老人福祉センター事業の実施状況についてでございます。新型コロナウイルス感染症に対して、高齢者は感染・発症後重篤になるリスクが高いと言われ、外出を自粛している方が多いように思います。その中で、老人福祉センターの事業の実施状況及び利用状況はどのようになっているのか伺います。

続きまして、2項目め、加美上水公園におけるカシノナガキクイムシによる被害についてでございます。

カシノナガキクイムシ、通称カシナガは日本、台湾、インド等の東南アジアに広く分布しており、成虫の体長は4.5ミリメートルから4.7ミリメートル前後になります。雌の前胸背の中央線周辺に孢子貯蔵器官を持ち、病原菌（ナラ菌）のほかに、餌となる菌（アンブロシア菌）の運搬を行います。せん孔後、産卵をする際に壁に菌を植え付け、ふ化した幼虫はその菌を食べて成長します。

加美上水公園で被害にあったコナラは、せん孔した穴から排出されるフラス（木くずとフンが混ざったもの）が細かく大量に排出されています。

せん孔した際、ナラ菌の作用により周辺部の通水機能を失い、急速に葉の色が赤褐色に変わり落葉し枯死に至っています。

東京都公園協会所管公園の被害公園数は2019年10月11日現在25か所であり、東京都環境局自然環境部作成の東京都内のナラ枯れ被害状況は2019年10月30日現在163本にも及んでいると報告されています。

そこで、加美上水公園内に生育しているコナラがカシナガによる被害が発生しているが、被害の状況と対策について伺います。

○市長（加藤育男君） 小澤議員の御質問にお答えをさせていただきます。

1項目めのコロナ禍における高齢者支援についての1点目、心身の健康維持を図る目的で実施したカタログギフト配布の現状と対応についてでございます。

新型コロナウイルス感染症に対する警戒が高まり始めてから間もなく1年が経とうとしております。この間、市民の皆様お一人お一人が感染予防に努められ、市では、様々な情報提供と、感染症対策を実施してまいりました。

中でも、感染すると重症化しやすいと言われる高齢者に関しましては、感染機会を極力減らすため、2月後半から各種介護予防教室の中止や、老人福祉センター事業を休止いたしました。

その頃の市内感染者数は、少数に留まっておりましたが、緊急事態宣言解除後も外出自粛は継続しており、他者との交流や趣味活動ができない状況が続き、高齢者の身体機能や生活機能の低下などが心配されました。

このような状況において、市では、高齢者の心身の健康等に寄与するギフトを送付し、心と体の健康維持を支援するとともに、ギフトのお申し込みがなかった方には安否確認の見守りを行う高齢者感染症対策事業、「心と体の健康ギフトプレゼント」を実施いたしました。

対象者は、令和2年8月1日現在65歳以上の市民、1万5131人で、うち、転居先不明等による返戻が32件ございました。返戻分につきましては、現在、転居先の確認等を行っております。

また、ギフトの申込状況は、11月20日現在1万946件で、72.3%の方にお申し込みいただいております。

申込みがお済みでない方につきましては、今後、介護福祉課において現況を確認し、地域包括支援センター等と連携して安否確認等を実施いたしまして、ギフトの申込み支援や、状況に応じて介護保険等のサービスにつながる支援を行ってまいります。

次に2点目の、老人福祉センター事業の実施状況についてでございます。

老人福祉センターは、福祉センター内にある60歳以上の市民が御利用いただける健康増進や各種相談、趣味活動などを行う施設でございます。また、福生市社会福祉協議会を通じて、老人クラブの活動支援や、自主グループの育成、援助等を行っております。

新型コロナウイルス感染拡大防止の取組といたしまして、高齢者は感染すると重症化しやすいと言われていたことから、初期段階では、入浴施設や視聴覚室、各種教室等の老人福祉センター事業を3月2日より休止し、利用者の感染予防を図ってまいりました。

しかしながら、外出自粛期間が長期化するにつれ、生活が不活発となり、高齢者の身体機能や、生活機能の低下が心配されるようになりました。

5月に入り、東京都では感染者数の減少や、新しい日常の定着への呼びかけなどもあり、緊急事態宣言が解除されたため、6月8日より老人福祉センターの入浴施設に限り再開いたしました。

再開に当たっては、利用人数を制限し、時間による入替制にして消毒を徹底するなど、高齢者の皆様が安心して御利用いただけるよう、感染症対策を行い運営しております。

その後は順次、感染リスクが低いと思われる活動から再開しておりますが、飛沫防止のシートで仕切りを設ける、参加人数を制限し、その分、実施回数を増やすなど、それぞれにあった感染症対策を行い、実施方法を工夫して少しずつ活動を増やしました。

利用状況といたしましては、入浴等の人数制限のほか、十分な感染症対策が図れないカラオケや社交ダンスなど、再開していない活動もあり、10月の利用者数を前年度と比較いたしますと約7割でございます。

介護予防の観点からは、高齢者の皆様には感染予防に御留意いただきながら各種活動等に御参加いただきたいと思っておりますが、11月中旬以降、感染者が急増しております。特に高齢者の感染は大幅に増加しており、その拡大が懸念されておりますことから、今後、老人福祉センター事業をはじめ、高齢者を対象とする事業等につきましては、再度、対応を検討することも考えてまいります。

次に2項目めの加美上水公園におけるカシノナガキクイムシによる被害についてでございます。

カシノナガキクイムシは、通称カシナガと呼ばれておりますが、日本や東南アジアに広く分布する在来種であり、体長は5ミリ前後で、ナラやカシ類の樹木に穴を開けて産卵し、繁殖をいたします。

直径10センチ以下の樹木では繁殖しない傾向があり巨木化した樹木を好む傾向にあるとのことです。

このカシナガは、ナラ枯れを引き起こすナラ菌を媒介するために、穴ができると通水機能を失い、急速に葉の色が茶色に変わり立ち枯れに至ります。

東京都においては、昨年より被害が報告されており、本市においても加美上水公園にて8月下旬にコナラの木1本がカシナガにせん孔されたと思われる穴と木くずがあるとの連絡を加美上水公園ボランティアの皆様から受け、現地を確認したところ、葉も枯れている状況でございました。

このコナラについては、公園ボランティアの皆様と協議をし、被害が拡大しないように伐採処分とさせていただき、改めて加美上水公園全体についても点検を行った結果、その他にもコナラの木、4本の被害を確認いたしております。

このコナラの木、4本への対応でございますが、ナラ枯れにより樹木が立ち枯れると、倒木や枝の落下等が起き、公園の利用者等に被害が出る可能性がございますので、被害拡大防止と立ち枯れによる倒木被害防止の観点から伐採することとし、令和

3年1月末までの工期で造園業者と契約をする予定でございます。

また、今後の予防対策でございますが、殺菌剤の注入等や萌芽更新により雑木林の若返りを図ることが有効であると考えられますが、どちらも費用面等の課題もございますので、今後も公園ボランティアの皆様とともに点検を行いながら、被害の状況を注視していきたいと考えております。

以上で、小澤議員の御質問に対する答弁とさせていただきます。

○4番（小澤芳輝君） 市長御答弁有難うございました。これから再質問に移りたいと思います。

最初に、心身の健康維持を図る目的で実施したカタログギフト配布の現状と対応について、2点ほど再質問をいたします。

1点目、私もカタログギフトに関しまして市民の皆様からいろいろな意見をお聞きしていますが、ギフトの申込はがきに近況を記入する欄がありましたが、どういったものがあつたか代表的なもので結構ですので、紹介していただけますでしょうか。

2点目、11月20日現在の申込み状況が72.3%とのことですが、申込みの勸奨はがきなど出す予定はありますでしょうか、

○福祉保健部長（町田和子君） 再質問にお答えします。

1点目、カタログギフトでは、申込はがきに「コロナ禍における暮らしのご様子」を御記入いただく欄を設けまして、皆様の近況を御記入いただきました。

一例を申し上げますと、「友人と会えないのは残念だが、メールや電話で励まし合っている」「老人会やお祭りなどいろいろ中止になり、体力の衰えが心配」「友人との旅行や会食ができず、気持ちが暗くなったが、体操教室が再開して元気が出た」など様々な御報告をいただき、皆様が感染予防のためこれまでのような生活ができない中、前向きに日々過ごされている御様子を伺うことができました。

また、申込はがき以外にも数件ではございますが、おかげさまで元気が出ましたなど、お礼のおはがきを頂戴しております。

2点目、申込みの勸奨につきましては、12月1日号の市広報でお知らせするとともに、市内の公共施設にポスターを掲示しております。

また、締切り1か月前を目安に、間もなく締切りである旨をお知らせするおはがきをお送りする予定でございます。

○4番（小澤芳輝君） ありがとうございます。1点目の再質問の答弁に関して再々質問をいたします。

高齢者の皆さんの近況が前向きな内容が多かったようで安心しました。

ですが、やはり、友人と会ったりすることや、体力、気力の低下を心配されている方もいるようです。また、感染者が急増しておりますので、外出を控える方も再び多くなるのではないかと思います。一日数分でも、外に出て、御近所の方などと言葉を交わすなど、ちょっとした外出の機会などがあると良いと思いますが、その辺りの支

援はいかがでしょうか。

○福祉保健部長（町田和子君） 再々質問にお答えします。

新型コロナウイルスの感染を警戒し、外出を控えている方たちは多くいらっしゃると思われ、市といたしましても大変心配しておりましたが、地域の皆様の自発的な活動により、友愛活動や見守りが行われております。

老人クラブや小地域福祉活動等におきましては、お仲間同士、御近所同士声を掛け合いながら、感染防止策を講じ、それぞれ内容を工夫して活動を再開されております。

また、介護予防リーダーは気軽に御参加いただける集いの場を主体的に実施しております。

10月から始まりましたこの活動は、ふくふく福生体操とラジオ体操を実施しており、場所は、丘の広場と市内3か所の公園で、場所ごとに曜日が決まっております。

この活動は「こんな時だからこそ身近なところで参加できる活動をしよう」、「ちょっと外へ出て体を動かす機会を作りたい」など介護予防に対するリーダーさんたちの思いから始まり、御近所や御友人に声掛けしていただき、少しずつ参加者が増えております。ふくふく福生体操は、難しい部分もございしますが、間違っても笑い合いながら楽しく体を動かすことが大切です。どなたでも御参加いただけますので、外出を控えていらっしゃる御友人等を誘って、また、お近くをお通りの際に、マスクを着用して、お気軽に御参加いただきたいと存じます。

○4番（小澤芳輝君） 答弁ありがとうございました。

ギフト申込はがきの返送がされない、いや出来ない方の中に一番問題になる方々がいると思います。介護予防リーダーさんたちの思いから始まり、御近所や御友人に声掛けしていただいている運動を是非サポートして広めていってほしいと思います。続きまして、老人福祉センター事業の実施状況について再質問いたします。

今後の感染状況によっては、せっかく再開した介護予防教室や老人福祉センターなど休止されることもあると思うのですが、その際の高齢者フレイルの低下が心配です。

再び緊急事態宣言が発令されるなどした際のフレイル予防対策は何かお考えがありますか。

○福祉保健部長（町田和子君） 感染者の急増により緊張が続いておりますが、高齢者のフレイル予防に小グループや自宅で取り組んでいただけるよう、福生市介護予防DVD「福生市はつらつ健康プログラム」を作成いたしました。

内容は、運動編、講座編に分かれており、運動編では、ふくふく福生体操をはじめ、腰痛やひざ痛改善のためのエクササイズ、転倒防止など8項目が収録されています。講座編には、栄養や季節のテーマ、社会参加の大切さなど、5項目が収録されており、お一人でも取り組んでいただけるよう、運動時のアドバイスや効果の解説などを納めたパンフレットとセットになっており、介護を必要としない体づくりのために作成いたしました。

DVDは2000枚作成し、現在、介護予防リーダーや、小地域福祉活動等を通じて配布しております。

今後は、12月15日号の広報により周知いたしまして、介護福祉課、健康課、地域包括支援センター熊川の窓口にて希望される方に配布する予定でございます。

○4番（小澤芳輝君） 御答弁ありがとうございました。

高齢者のフレイル予防に小グループや自宅で取り組んでいただけるよう、福生市介護予防DVD「福生市はつらつ健康プログラム」を作成したそうですが、コロナ禍においてはなかなか介護予防リーダーによる対面指導がコロナ対応のため困難な局面が多々あるかと思えます。DVDをうまく利用して1人でもフレイルや要介護にならないような運動をよろしく願いいたします。

続きまして、加美上水公園におけるカシナガによる被害について再質問いたします。

被害の確認、伐採計画と早速の対応ありがとうございました。福生市には他にも公園がありますが、他の公園の状況について伺います。

○都市建設部長（清水靖弘君） 他の公園の状況でございますが、福生公園の文化の森にて、福生萌芽会の皆様からの通報により、コナラ5本の被害を確認しており、倒木や、枝の落下等の危険性があることから、現在、伐採の準備を進めております。

また、原ヶ谷戸どんぐり公園におきましても、市民の方からの通報があり、現在、被害を確認中でございます。状況が確認でき次第、対応を検討してまいります。

このカシナガによる被害につきましては、これから越冬期に入りまして、被害確認の目安である木くずの確認が困難な状況ではございますが、まずは、今後も、被害状況の確認に、努めてまいりたいと考えております。以上でございます。

○4番（小澤芳輝君） ありがとうございます。

やはり、他の公園も被害を受けているのですね。では、再々質問として公園環境保全の観点から早期発見により伐採以外の対策等はないか伺います。

○都市建設部長（清水靖弘君） 伐採以外の対策についてでございますが、被害を早期に発見できた場合は、殺菌剤を注入するなどの方法があるようでございますが、やはり専門家による対応が必要となるようでございます。

このカシナガによる被害については、全国的に発生しておりますので、今後は、他の自治体の取組などを研究させていただき、また市内の造園業者で組織をしております緑化推進協会等の専門家の御意見も伺いながら対応してまいりたいと考えております。以上でございます。

○4番（小澤芳輝君） わかりました。

最後に要望になりますが、老若男女特にコロナ禍において遠出ができない高齢者が憩う公園ですから、安全第一での取組は当然です。予算等難しい問題もあると思いま

すが、福生市は森林面積が広いとは言えません、樹木という公園の資源を損なうことがないように対応を要望いたします。

以上で、私からの質問を終わらせていただきます。ありがとうございました。

~~~~~